

平成25年度事業ならびに活動報告

1. 事業活動概況

平成25年度の活動計画にもとづき、産業に係わる安全の諸問題を広く工学的に調査・研究し、各種災害の防止のための知識・技術の向上及び普及を図った。

研究・教育事業では例年開催している研究発表会を11月28・29日に高松サンプォートホールにて開催し、例年並みの187名の参加があった。又、2014年6月開催予定のWCOGI 2014の準備を進め、発表者は8カ国108件の応募があった。招待講演は6カ国10件を予定する。企業協賛は基本協賛18社をはじめ展示など30社の協賛を受けることが出来た。

普及啓発一般事業では、例年と同様、会誌“安全工学”を発行し、各種講習会セミナーを開催した。論文投稿者は14報で例年よりわずか多かった。セミナー参加者は若干の減少傾向が続いている。災害事例研究会は大手企業の事故事例を取り上げ多数の参加があった。

普及啓発事業において、保安力評価システムを実践するため「保安力向上センター」を平成25年4月1日設立して本格的活動に入った。支援企業は1社増え、計19社となった。支援企業の17事業所の自己評価に対してフォローアップを実施した他、有償のセンター評価を1企業3事業所にて実施した。

経済産業省保安課より平成25年9月「平成25年度現場保安力維持向上基盤強化事業（現場保安力維持・向上に向けた調査・分析）」に関する委託を受け、実施委員会を立ち上げ、石油・石化企業23社32事業所のヒヤリングなどを実施し3月28日報告書を提出した。

安全工学会の会員は法人会員は82社と横並び、普通会员は637人から601人に減少（入金ベース）、ここ数年、減少傾向が続いている。

2. 特定非営利活動に係る事業

2.1 安全工学に関する研究・教育事業

(1) 第46回安全工学研究発表会

開催日時：平成25年11月28日（木）、29日（金）

実施場所：高松サンプォートホール（高松市）

参加者：187名

一般講演：19セッション63件

OS講演：1タイトル4件

特別講演：2件

技術展示協賛：11件

ポスター協賛：8件

(2) WCOGI 2014大会の開催準備

第5回 World Conference on the safety of Oil and Gas Industry (WCOGI 2014: 2014年6月8日～11日、岡山コンベンションセンター) での

発表募集(IPC)、企業協賛募集(NOC)などの準備中。

(3) 研究・教育事業管理

①学術委員会

研究発表会の結果反省、準備等 1 回実施

②安全工学研究発表実行委員会

研究発表会に向け 2 回実施

③WCOGI 2014 実行委員会

全体会議 1 回、IPC 委員会 2 回、その他事務打ち合わせ実施。

④医療安全研究会

6 回の研究会を練馬総合病院などで開催

⑤廃棄物安全研究会

3 回の研究会を東大環境センター、三友プラントサービス、神奈川県技術センターで開催

⑥次世代安全研究会

4 回の研究会を経産省別館産業総合技術研究所会議室にて開催

⑦プロセスケミストリー標準モデルWG

7 回 三菱化学、三井化学、東工大 ICI 等で開催

2.2 安全工学に関する普及啓発事業

2.2.1 一般普及事業

(1) 会誌発行“安全工学”(Vol. 52, No. 2~Vol. 53, No. 1)

平成 25 年 4 月, 6 月, 8 月, 10 月, 12 月、平成 26 年 2 月発行

特集: 海外プラント建設の HSE (小特集) Vol. 52, No. 4

大気中物質の広域化拡散とその影響 Vol. 52, No. 6

(2) 講習会・セミナー

①第 35 回安全工学セミナー

開催場所: 砂防会館又は化学会館 会議室

A. 物質危険性講座

開催日: 平成 25 年 9 月 11 日 (水), 12 日 (木)

参加者: 12 名

講師: 新井充氏、鶴田俊氏、松永猛裕氏、田中則章氏

B. 危険現象講座

開催日: 平成 25 年 10 月 22 日 (火), 23 日 (水)

参加者: 10 名

講師: 土橋律氏、山隈瑞樹氏、三宅淳巳氏、若倉正英氏

C. プラント安全講座

開催日: 平成 25 年 11 月 14 日 (木), 15 日 (金)

参加者: 10 名

講師: 島田行恭氏、角田浩氏、高木伸夫氏、二宮光良氏、
佐藤吉信氏、柴崎敏和氏、

D. 安全マネジメント講座

開催日: 平成 26 年 1 月 15 日 (水), 16 日 (木)

参加者：18 名

講 師：野口和彦氏、半田安氏、田村昌三氏、臼井修氏、酒井一博氏、
小川輝繁氏

② 安全工学地域セミナー

開催日：平成 26 年 2 月 14 日（金）

開催場所：新コスモス電機（株）本社会議室

参加者：14 名

講 師：井村裕氏、浅香尚民氏、清水純夫氏

内 容：講演の他、新コスモス電機（株）製造現場を見学

③ 第 12 回安全工学実験講座

場 所：日本カーリット（株）危険性評価試験所

開催日：平成 25 年 5 月 27 日（月）、28 日（火）

参加者：17 名

講 師：（有） P H A コンサルティング 飯塚義明氏
日本カーリット（株） 鈴木康弘氏

内 容：安全工学関連物性評価試験、過去の事故事例を参考にしたモデル実験、

④ 第 27 回安全管理の最新動向講習会

開催日：平成 25 年 5 月 15 日（水）、16 日（木）

場 所：化学会館

参加者：28 名

内 容：化学産業のリスクベース安全とその方策	高木伸夫氏
航空会社における安全管理の最新動向	田中龍郎氏
鉄道におけるヒューマンファクターと安全	楠神健氏
化学プラントの事故から学ぶ安全管理のポイント	中村昌允氏
事故防止のための安全文化の創造と実践	高野研一氏
建設現場の安全管理への取組に関する活動事例	須藤英明氏

⑤ 災害事例研究会

a) 第 45 回災害事例研究会

場 所：化学会館

開催日：平成 25 年 7 月 24 日（水）

参加者：62 名

内 容：＊レゾルシン爆発火災事故について	小川輝繁氏
＊三井化学株式会社の抜本的安全の取組	松尾英喜氏

b) 第 46 回災害事例研究会

場 所：砂防会館

開催日：平成 25 年 12 月 13 日（金）

参加者：29 名

内 容：＊塩化ビニルモノマー製造施設事故について	鈴木和彦氏
＊東ソー株式会社の安全改革活動の取り組み	大塚 肇氏

(3) 安全懇談会

①工場長との安全検討会

水島地区の5社の工場長と学会関係者の懇談会を旭化成ケミカルズ(株)大高研修所で実施。(旭化成ケミカルズ(株)、JX日鉱日石エネルギー(株)、三菱化学(株)、三菱ガス化学(株)、日本ゼオン(株)、学会側5名)

開催日：平成25年11月20日、

②安全工学に関する産官学の技術情報交換会

若手研究者を中心に懇談会を2回実施。

(4) 普及啓発事業管理

① 編集委員会

毎月(計12回)の編集委員会を開催。

② 普及委員会

4回開催

③ 会誌電子化検討会

会誌の電子化について議論を開始

2.2.2 普及啓発事業：保安力向上センター関連事業

保安力向上センターを4月1日に正式設立し、活動を開始した。

4月26日支援者及び官公庁来賓を招き設立大会を開催(出席者約100名)。支援者17事業所の自己評価に対するフォローアップを実施し整合性を確認するとともに評価システムの一部改定を実施。システムその他分野への展開を図るべくシステムの拡充、専門家の育成に向けた活動を開始した。支援者は1社増えて19社となった。

支援者以外に有償にて1企業3事業所の安全文化についてセンター評価を実施した。

① 保安力向上センター支援会員連絡会	2回開催
② 保安力向上センター運営委員会	4回開催
③ 保安力向上センター企画委員会	5回開催
④ 保安力向上センター評価推進委員会	7回開催
⑤ 保安力向上センター総務会	2回開催
⑥ 普及グループ定例会議	6回開催

2.2.3 普及啓発事業：受託事業

① 経済産業省保安課委託事業

「平成25年度現場保安力維持向上基盤強化事業(現場保安力維持・向上に向けた調査・分析)」

内容：石油・石化企業23社32事業所を訪問し、良好事例を収集し事故の共通する発生要因との関連を分析

*契約期間：平成25年9月11日～平成26年3月28日

①有識者委員会	3回
②良好事例研究会	5回
③事務連絡会	10回
④ヒヤリング調査	23社32事業所

- 尚、契約期間外での事前打ち合わせ 4 回
この受託事業に関連して受託事業管理委員会 2 回（含メール会議）
- 2.3 安全工学に関する調査研究及び情報収集提供事業
・安全工学に関する情報を提供のホームページ情報
随時ホームページ修正を行った。
- 2.4 安全工学研究の奨励及び研究活動等の表彰
安全工学に貢献した優秀論文、及び安全に関して学術・技術・啓蒙、本学の発展に貢献した功労者を選考した。又、研究発表会に於いてすぐれた発表をした若手研究者を選考した。
表彰式は総会で実施予定。（表彰者は別紙報告事項参照）
- (1)安全工学論文賞選考委員会
平成 26 年 3 月 14 日(金)（選考委員 5 名）
- (2)北川学術賞、玉置功労賞選考委員会
平成 26 年 3 月 14 日(金)（選考委員 5 名）
- (3)奨励賞選考（学術委員会にて選考）
平成 26 年 3 月 11 日(月)（委員 6 名）
- 2.5 国内外の団体との連携及び協力
- (1)安全工学に関連する学協会に加入
（一社）日本工学会、高圧ガス保安協会などに会員として加入
- (2)安全工学シンポジウム 2013（第 43 回）
開催日時：平成 25 年 7 月 4 日（木）、5 日（金）
実施場所：日本学術会議
主 催：日本学術会議
幹事学会：電気学会
共 催：32 学協会
一般講演：44 件
O S 講演：14 題 71 件
特別講演：2 件
パネルディスカッション：1 パネル、7 講演
安全工学会参加セッション：
O S；廃棄物処理・資源循環に関する事故の解析と事故データベース
を活用した安全化技術
座長：大下和徹氏、
発表者：大下和徹氏、清水芳忠氏、牧野良次氏、武田和宏氏、
- 2.6 管理業務
- (1)総会（1 回）
開催日：平成 25 年 5 月 22 日（水）
開催場所：化学会館
出席者：委任状を含め 444 名
特別講演：「安全学の体系化に向けて」（向殿政男氏）
- (2)理事会（4 回）

平成 25 年 5 月 8 日（火）理事 14 名 監事他 2 名

場所：アロマビル 701 会議室

内容：平成 25 年度総会議決事項の審議（H24 年事業報告・決算報告、H25 年事業計画・予算、H25 年役員改選、定款改定）、平成 25 年度学会賞選考審議、理事会規程審議、定例報告

平成 25 年 7 月 23 日（火）理事 13 名 監事他 2 名

場所：アロマビル 701 会議室

内容：定例報告

平成 25 年 11 月 19 日（火）理事 14 名 監事他 2 名

場所：アロマビル 701 会議室

内容：平成 26 年度役員改選での役員候補推薦委員会メンバーの選出、他学協会への登録の見直し審議、定例報告

平成 26 年 3 月 4 日（火）理事 14 名 監事他 2 名

場所：アロマビル 701 会議室

内容：平成 26 年度 4－5 月暫定予算審議、定例報告他

(3) 常任理事会(1 回)

平成 25 年 7 月 23 日(火) 常任理事 6 名、事務他 1 名

場所：アロマビル 701 会議室

内容：企業会員のインセンティブ議論

(4) 委員会

①評議員会

平成 25 年 5 月 22 日（水） 実施 出席者 7 名

②監事会

平成 25 年 5 月 2 日（木） 実施

③企画委員会

2 回実施

(5) 見学会

①開催日：平成 25 年 11 月 27 日（水）

開催場所：高松地区を 2 コースで実施

A コース：日プラ株式会社

内容：水族館用透明アクリル厚板製造工場見学

参加者：10 人

B コース：三菱化学株式会社坂出事業所

内容：コークス工場の見学

参加者：11 名

②開催日：平成 26 年 3 月 7 日（金）

開催場所：（一社）日本海事検定協会 理化学分析センター

参加者：6 人

内容：該センターの新規システム及び各種分析機器の見学、異物分析事例紹介

以上